

## ナイスチャレンジ！ナイスグループで賞 小林 京子さん

日本の各地で開催されたマラソンの様子が、華やかに放映されているのを見るにつけ、長い距離も楽しく走ることができるのだ、すごい持久力と精神力の持ち主なのだとは毎回感心して見ていました。

スポーツが大好きな私でも、マラソンだけはしりごみしていました。家の近くのゴミだしできえ車で行っていたし、スーパーに買い物に行けば、入り口に近い駐車場をいつも探していました。

そんな私でしたが、還暦を迎えた節目の時に、何か今までにやらなかったことにチャレンジしてみたくなり、思いついたのがそれまではしりごみしていたマラソンでした。

苦しいだけで何が魅力で走るのか私には解らなかったので、趣味でマラソンをしている友人にいろいろ教えてもらい、初心者でも完走できる小布施ハーフマラソンにエントリーし、その友人と一緒に初挑戦しました。

七月の大会なので朝六時のスタートでした。走り始めて一時間もすると苦しくなり、やっとの思いで給水所までたどりついて水を飲み、また走っている途中で苦しくなりこんなことやらなければよかったと何度も何度も後悔しましたが、沿道の市民応援団のみなさんに「がんばって、がんばって、もう少しでゴールだよ」と声をかけてもらいやっとのことでゴールすることができました。スポーツニュースで見た完走したランナーの晴々とした笑顔のわけが理解できた一瞬でした。

あの有名な有森選手の言葉「自分をほめてあげたい」という言葉を思い出しました。この年になると、スポーツに関して人からほめられることは、そう多くはありませんから単純にうれしかったです。まだまだその気になれば年齢など関係なく、なにでもチャレンジできます。

初マラソンから三年目になりますが、千曲川ハーフマラソンをはじめ、県内各地のハーフマラソンに六回出場し、全て完走できました。マラソンは、魅力あるスポーツです。

東京マラソン                      あこがれ

長野マラソン                      目標

千曲川ハーフマラソン      楽しみ

皆さんもぜひ千曲川の風を感じながら宝物を見つけに一緒に走りませんか。

一人では出来ないと思ったこともみんなと一緒にだと完走できますよ。

